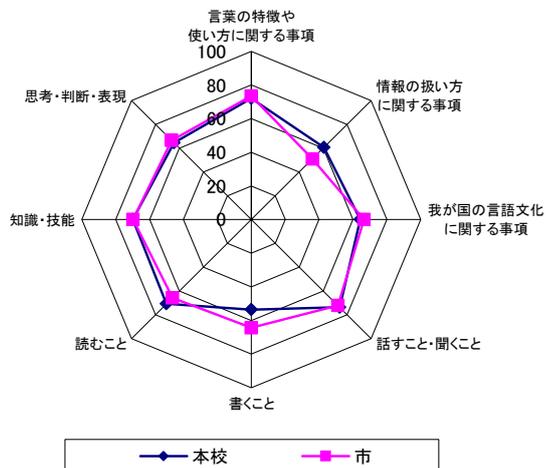


宇都宮市立東小学校 第6学年【国語】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	言葉の特徴や使い方に関する事項	72.1	73.5	74.4
	情報の扱い方に関する事項	60.7	51.0	51.5
	我が国の言語文化に関する事項	64.3	66.5	68.8
	話すこと・聞くこと	73.8	72.3	73.7
	書くこと	53.6	64.3	66.6
	読むこと	70.8	65.8	64.9
観点別	知識・技能	69.9	69.8	70.8
	思考・判断・表現	64.5	66.5	67.3

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
言葉の特徴や使い方に関する事項	<p>平均正答率は72.1%であり、市の平均を1.4P下回っている。</p> <p>○三字の熟語の成り立ちについて理解する設問では、正答率が75.0%と市の平均を6.4P上回り、敬語を正しく理解して使う設問では、正答率が32.1%で市の平均を9.9P上回っている。</p> <p>●6年生に配当されている漢字を読む問題、5年生に配当されている漢字を書く問題ともに、3問中2問で市の平均を下回っている。</p>	<p>○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの</p> <p>・漢字の学習においては、今後も繰り返し練習するだけでなく、熟語を調べたり、漢字を活用したりする学習を行い、漢字を日常生活で使えるよう家庭学習を工夫していく。</p>
情報の扱い方に関する事項	<p>平均正答率は60.7%であり、市の平均を9.7P上回っている。</p> <p>○情報と情報をの関係について理解し、文章の情報を整理すること、目的に応じて文章を簡単に書くこと共に市の平均を上回っている。</p>	<p>・これまで国語の学習では、文章と文章を関連付けて読んだり、比べながら読んだりする学習を行ってきた。今後はさらに、共通している点は何か、違っている点は何かに着目しながら読めるようにしていくとともに、読み取ったことを簡単に文章にまとめることなどを取り入れていきたい。</p>
我が国の言語文化に関する事項	<p>平均正答率は64.3%であり、市の平均を1.2P下回っている。</p> <p>●和語、漢語、外来語について理解しているかどうかの設問において、平均正答率は64.3%であり、市の平均を1.2P下回っている。</p>	<p>・和語と漢語の見分け方については、漢字の音読み、訓読みの知識が問われる問題である。今後は、漢字の学習の際、訓読みと音読みの違いをしっかりと定着できるように指導していく。</p>
話すこと・聞くこと	<p>平均正答率は73.8%であり、市の平均を1.5P上回っている。</p> <p>○話を聞いて、内容を捉える設問において、正答率が100%であり、市の平均を6.5P上回っている。</p>	<p>・話の、内容を捉えて聞くことに関しては、概ねできていると考えられるので、今後も、話の中心や伝えたいことが何なのかに気を付けて聞く指導を続けていく。その際、大事に気を付けて言葉をメモするなど、工夫して聞くことができるように指導していく。</p>
書くこと	<p>平均正答率は73.8%であり、市の平均を10.7P下回っている。</p> <p>●「指定された長さで文章を書く」という条件については、正答率が39.3%であり、市の平均を29.2P下回っている。また、「2段落構成で文章を書く」という条件については、正答率が46.4%であり、16.8P下回っている。</p>	<p>・今後は、文章を書くときに、「○行以上書く。」や「2段落構成で書く。」、「意見とその理由を段落を分けて書く。」などの制限をつけて書く練習をしていく。また、行事等の後の作文指導でも、「会話文や心情語を入れて書く。」「書き出しや題名を工夫する。」など、条件をつけて書かせることで、総合的な書く力の向上を図る。</p>
読むこと	<p>平均正答率は70.8%であり、市の平均を5.0P上回っている。</p> <p>○登場人物の心情について、描写を基に捉える設問については82.1%であり、市の平均を6.9P上回っている。</p>	<p>・文学的な文章教材の指導においては、今後も叙述を基に、登場人物の行動の理由や心情について、具体的に想像して考えられるように指導していく。説明的な文章教材の指導においては、筆者が主張したいことは何なのか、そのためにどのような事例を挙げているのかなど、文章の構成や具体・抽象などに気を付けながら読み取れるように指導していく。</p>